

SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2015 New Year Edition

<http://japan.studyabroadfoundation.org>

「トビタテ!留学 JAPAN日本代表プログラム」第1期生より

大学生の留学促進のため官民協働でスタートした「トビタテ!留学 JAPAN日本代表プログラム」。第1期生に選ばれたSAFの学生、杉浦未来さんにインタビューしました。



杉浦未来さん
慶應義塾大学
総合政策学部3年生
英国グラスゴー大学によるSAF学部授業履修プログラムに2014年9月~12月まで参加。「トビタテ!留学 JAPAN日本代表プログラム」の自然科学系、複合・融合系人材コースの第1期生に採用。

ア」の中の日本という存在を強く意識するようになりました。現在は大学在学中にアジアの他の国でインターンシップ等をしてみたいと思っています。

事前研修で得たことは?

研修で得たものは大きく二つ。自分の留学計画や自分自身を見つめ直すきっかけとなったこと、トビタテ同期の仲間です。2泊3日の研修では、全国



留学計画の内容は?

私の興味分野の独自性を重視して計画を立て応募しました。以前から勉強していた「科学技術政策」という分野は圧倒的に米国が先進国で、大学でも米国の政策を中心に学んでいましたが、米国のモデルだけを日本の参考にすることは限界があり、他の独自の視点を持ち込むことができないだろうかと考えました。そこで注目したのはスコットランドでした。ちょうど、英国からの独立の動きもあり、規模は小さいながらも独自の政策を展開する政府という点に興味を持ち、スコットランドの科学技術政策を研究するということが軸に計画を立てました。

計画は順調に進んでいますか?

今までの米国に偏っていた視点に気づき、英国という新しい視点を意識することができています。更に、多国籍な留学生に囲まれ、「アジ



から多様な分野を専攻し、多方面に飛び立つ仲間と出会いました。相手の反応を見つ、幾度もシンプルで解りやすく伝わる説明を目指しているうちに、留学計画や私の目指しているところがより明確な形でアウトプットできるようになりました。また、心から自分のロールモデルだと考えられる方々の公演を聞いたり、個人的な仲間と過ごしたりするうちに、自分の内面に関しても振り返る機会を得ました。

留学経験をどのように活かしたいですか?

グラスゴーで得たグローバルな視点を確実に活かしていきたいと考えています。英語をはじめ、外国語はこれからも勉強していきたいですし、自分の専門分野プラス外国語で、国際的な舞台で日本に貢献していきたいです。またそのためにも、もう一度海外で勉強することができたらと考え

ています。加えて、私は一度諦めかけたこの留学という貴重な経験をトビタテやSAFさんを始め日本社会の方々から頂いたため、将来的には後輩たちにもそんな機会を与えてあげられる存在になりたいと考えています。

SAFの採用結果と今後について

SAFからは、カリフォルニア大学およびグラスゴー大学に留学した学生が1名ずつ、「トビタテ!留学 JAPAN日本代表プログラム」の1期生に選ばれました。第二期生の募集に際しては、約15名の学生がSAF留学を前提として本プログラムに申請しており、説明会の実施や留学アドバイザーを通して今後も申請のサポートをしています。また、本プログラムが実践的な学びを重視していることを踏まえ、インターンシップが組み込まれた学部授業履修プログラム(アカデミック・インターンシップ・プログラム)の開発に力を入れていく予定です。

SAFの国際的な大学ネットワーク

SAFの国際的な大学ネットワークを活用して、アジアのメンバー大学は以下の名門大学へ学生を派遣することが可能です。SAFの学生の多くは留学先大学の単位を取得し、在籍大学に認定してもらうことで、SAFでの留学期間も含めて4年間で大学を卒業しています。

アメリカ	カナダ	イギリス	アイルランド	ドイツ
アーカンソー大学	カルガリー大学*	ウェストミンスター大学	アイルランド国立大学	ライプツィヒ大学
アイオワ大学	バーモント大学	エジンバラ大学	ダブリン校*	スペイン: レオン大学*
アメリカン大学	ハワイ大学 ヒロ校	セント・アンズ・カレッジ	リムリック大学	*語学強化プログラムでのみの提供となります。
アラバマ大学	ハワイ大学 マノア校	グラスゴー大学	オーストラリア	アカデミック・インターンシップ
アリゾナ州立大学	バンダービルト大学	プリストル大学	ウーロンゴン大学	(学部授業+インターンシップ)
アリゾナ大学	ペンシルバニア大学	ロンドン芸術大学	クイーンズランド大学	提供機関
インディアナ大学	マウント・ホリオーク大学	ロンドン大学	ニューサウスウェールズ大学	アメリカン大学
カリフォルニア大学	ミシガン州立大学	クイーン・メアリー校	ニュージーランド	ワシントン・セメスター・プログラム
サンタバーバラ校	ミシシッピ大学	ユニバーシティ・カレッジ	オタゴ大学	ミネソタ州立大学
カリフォルニア大学	ミネソタ大学	ロンドン	ヨーロッパ言語	アメリカン・セメスター・プログラム
パークレー校	モンタナ州立大学	フランス: アンジェ・	ヨロツバ言語	エジンバラ大学
エクステンション	モンタナ大学	カトリック大学*	フランス: アンジェ・	ワシントン・セメスター・プログラム
カリフォルニア大学	ユタ大学	スイス: ローザンヌ大学	カトリック大学*	ミネソタ州立大学
リバーサイド校	ワシントン大学*		スイス: ローザンヌ大学	アメリカン・セメスター・プログラム

建学の精神を再認識し真に国際社会に貢献する大学をめざして



慶應義塾大学
国際連携推進室
事務長
隅田 英子様

慶應義塾大学は、福澤諭吉が明治維新後の日本において、産業革命を経て近代化が進んだ欧米諸国に比べ、鎖国により著しく発展が遅れた日本に危機感を感じ、欧米の学問を学ぶことにより、日本の独立を守り、近代化を牽引する人材の育成を行うため1858年に創立されました。常に日本の外に目をむけ、研究教育を行うことをその活動の中心にすえて、その結果、グローバル社会で活躍する多数の卒業生を輩出してきました。大学で行われる学問は、時を経て日本語化が進み、その結果、日本語による日本特有の学問や研究が成長しま

した。日本の大学として、入学試験を行い、多数の高校生が本学をめざし毎年二月に受験します。その結果、「日本」目線で、日本国内を意識し、大学は運営されてきました。

海外からの留学生を日本で最初に受け入れ、日本で最初に海外で中等教育を経て帰国をする帰国子女入試などを導入しましたが、教育内容の国際化や大学制度の国際化は、学内の部門が個別に検討実施し、国際化を出島的に扱う部門とし50年の歴史のある国際センターが部門横断的な国際化を実施してきました。大学全体として、国際化の推進においては、共通の方針や、方向性の理解のないまま、足並みがそろっていないという課題がありました。本学は、国内での知名度、ブランド力は高いといわれていますが、海外での知名度を確立することが十分にできていません。スー

パーグローバル大学創成支援事業においては、敢えて「タイプA:トップ型」で申請し、一丸となってトップの強いリーダーシップのもと、慶應が今後10年間、海外で確実なブランド力や知名度を上げるために、3つのクラスターとして「長寿(Longevity)」「安全(Security)」「創造(Creativity)」を決め、全学で研究、教育の両面で国際展開を実施、それに必要な学内の諸々の諸制度改革などを実施します。10年後には、国際が学内での特定の部門や国際担当部門ではなく、全学が国際化し、世界に知られるトップの大学となることをめざします。その過程で、単位取得を伴う海外留学経験学生数を大幅に増やす目標もあります。学生派遣や新たな留学プログラム開発の面で、SAFの知見や広範な国際大学ネットワークにますます期待を寄せています。

昭和女子大学 AICポスhtonキャリア開発プログラム(夏季4週間)



昭和女子大学ポスhton校に通う学生を対象に、非営利教育機関Academic Internship Council (AIC)と共同で開発した「AICポスhtonキャリア開発プログラム」は、3つのアカデミック科目と授業内容に関連した様々な機関・企業へのフィールドトリップを通して、グローバルキャリアを築くにあたって必要な知識やスキルを習得することができます。また、School of Recordである米国デュクレセル大学から付与される単位は、昭和女子大学の卒業単位に振り替えられます。

学生が支払うSAFプログラム費に含まれる開発・運営費に文部科学省が実施する「グ

ローバル人材育成推進事業」の予算を充て、留学費用を低く抑えて実施した結果、2014年度の実施においては、初年度ながら13名の学生が参加しました。

参加学生は授業やフィールドトリップで新しい知識を吸収するだけでなく、授業毎に課されるライティング課題や授業内でのプレゼンテーション、模擬就職面接などを通して様々なことを考え、そしてアウトプットのスキルを磨いたようです。「将来について前向きに考えるようになった」「グローバル企業で働く人の意見が参考になった」「履歴書の作成や模擬面接が将来に役立つと思う」というような感想が寄せられています。

次年度の実施に向け、短期間の留学がより実りあるものになるよう、効果的な事前研修の方法を検討しています。開始前に授業内容に関連した文献に目を通す機会を設け、背景

知識に少しでも触れておくことにより、授業への導入をよりスムーズにすることを目指しています。

本プログラムで履修する科目と付与される単位数

Boston in Context: Industry, Education, Innovation	3.5単位
Cross-Cultural Communication for Business	3.5単位
The World of Work: Careers Workshop	3.5単位

※School of Recordである米国デュクレセル大学は4学期制の大学です。上記の3.5単位は、昭和女子大学の約1単位に相当します。

フィールドトリップ

- Massachusetts Office of International Trade and Investment
- Center for Women in Enterprise
- Japan Airlines
- Omini Parker Hotel など計10か所

入学条件

語学力	TOEIC (IPまたは公開テスト) 600以上
GPA	2.5以上

米国非営利教育財団

SAFスタディ・アブロード・ファウンデーション 概要

〔設立年〕2000年

〔設立趣意〕留学を通して国際社会への関心を深め、国際社会や自国で活躍するために必要な異文化理解力を高めていく機会をアジアの大学生に広く提供していくために設立。

〔活動概要〕

- 国際的なSAF大学ネットワーク (International University Network) を組織し、日本、中国、台湾、

韓国、ブルネイ、マレーシア、カザフスタンを中心としたアジアの学生モビリティ促進のために活動。

- 北米、ヨーロッパ、オセアニアのSAFメンバー大学の協力の下、交換協定に基づかない学生派遣プログラム (Visiting Student Program) を推進。SAFの大学ネットワークに加盟するアジアの大学における単位取得を伴う派遣留学層の拡大をサポート。
- 2000年の設立以降、4,800人以上のアジアの大学生を欧米やオセアニア圏の大学へ派遣。

〔提供プログラム〕

期間	1学期、1年間、サマーセッション (6月～8月 / 8月～9月)
種類	学部授業履修、語学力強化+学部授業履修 (ブリッジ・プログラム)、語学力強化アカデミック・インターンシップ (学部授業+インターンシップ)

※上記に加え、大学または学部ごとに留学プログラムをカスタマイズすることも可能。(実施例: 慶應義塾大学理工学部、立教大学異文化コミュニケーション学部)

サマーセッション留学プログラム 日本で本格導入

2014年度にスタートした文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択された大学を中心に日本の多くの大学で、4学期制を導入した上で6~8月の期間に学生を海外に派遣する計画をしているようです。SAFでは日本の大学の新たな動きに合わせるため、日本の大学向けにサマーセッション留学を導入し、2016年夏より学生派遣を本格的に行う予定です。中国および慶應義塾大学理工学部生を対象に限定的に実施してきたサマーセッション留学の経験を活かし、より多くの日本の大学及び学生のニーズに合うプロ

グラムを再構築する予定です。

サマーセッション留学のメリットは、在籍大学の授業を中断する期間を約1~2ヶ月に短縮しつつ、海外の大学の学部授業を現地の学生と一緒に受けることができる点にあります。場合によっては、日本の夏休み期間(8~9月)のみで参加可能な大学もあり、その場合は日本の大学の授業履修を中断する必要はありません。サマーセッション留学を日本で本格導入することにより、短期留学でも交換留学と同様の経験ができるように最大限バックアップしていきたいと考えています。

再構築する予定のサマーセッションプログラム 概要

大学のタイプ	英語力の目安	学部単位の付与
アイビーリーグを中心とした難関私立名門大学	TOEFL iBT 100点前後	有
カリフォルニア大学を中心とした国立名門大学	TOEFL iBT 80点前後	有
語学要件が緩やかな良質な大学	TOEFL iBT 61以上	有
「語学+α」を提供している大学	不問	無 / 有
	※TOEIC 600-700 / IELTS 4.0-5.0 程度の英語力を求める大学有り (特に学部単位が付与される場合)	
8~9月のみでの参加が可能な大学	TOEFL iBT 61~80程度	有
インターンシップが可能な大学	IELTS 5.5	有

中国と日本における国際教育に関する情報発信

SAFでは、アメリカ本部および各国の事務局が中心となり、SAFのメンバー大学の教職員を対象に、国際教育における課題について議論する機会やプロフェッショナル・デベロップメントのためのセッションを企画し運営しています。

2014年11月に北京理工大学で実施した第2回SAF国際教育シンポジウムでは、中国のメンバー大学、中国政府関係者、アメリカおよびイギリスの大学関係者が一堂に集いました。今回のシンポジウムでは、中国の高等教育の国際化および学生のモビリティ促進について焦点を当て、Chinese Service Center for Scholarly Exchange (CSCSE)、北京理工大学、北京師範大学、大連理工大学、陝西師範大学、米国アーカンソー大学、そして英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) の代表者がそれぞれ発表を行いました。UCLによる発表では、欧米と中国の大学間の連携について双方が目指そうとしていることの違い、そして理想と現実的なニーズのギャップを埋める必要性が明らかにされ、参加者は協力関係を新たに構築し、また維持していくためのヒントを得たようでした。

日本では、第3回SAF Annual International Advisory Council Japan Chapter (IAC



Ms. Leslie Gryce Sturino, Xi'an Jiaotong - Liverpool University (第3回 IAC Japanにて)

Japan)を東洋大学と一緒に2015年1月初旬に実施しました。IAC Japanはメンバー大学や公的機関の教職員で構成される会合になりますが、毎年国内外の大学等からゲストスピーカーを招聘し、日本の国際化に役立つトピックに関する講演も実施します。本年度は中国のXi'an Jiaotong-Liverpool Universityのマーケティング&コミュニケーション部門のディレクターである Prof. Leslie Gryce Sturinoに、「Strategic International Marketing at Xi'an Jiaotong-Liverpool University: One of a Kind in the New China」というトピックで、同大学のユニークな設立経緯、学生募集、国際マーケティング戦略についてお話いただきました。

次回の実施予定は未定ですが、今後もSAFの大学ネットワーク間での情報交換が活発になるような企画を考えていく予定です。

SAF 大学ネットワーク(派遣元大学)

日本

沖繩国際大学
お茶の水女子大学
関西学院大学国際学部
慶應義塾大学
駒澤大学

信州大学
京都外国語大学
昭和女子大学
中央大学
東京理科大学

東洋大学
南山大学
日本女子大学
明治大学
立教大学

韓国

Catholic University of Korea
Chonbuk National University
Chonnam National University
Chung-Ang University
Chungbuk National University
Dankook University
Dongguk University
Hankook University of Foreign Studies
Hanyang University
Hongik University
Incheon National University
Inha University
Kangwon National University
Kongju National University
Kookmin University
Korea University
Kyungpook National University
Myongji University
Pohang University of Science and Technology
Pusan National University
Seoul National University
Seoul Women's University
Sogang University
Sookmyung Women's University
Soongsil University
Sungkyunkwan University
University of Seoul
Yonsei University

中国

Beijing Forestry University
Beijing Institute of Technology
Beijing Jiaotong University
Beijing Normal University
Beijing University of Chemical Technology
Beijing University of Posts & Telecommunications
Capital Normal University
Central China Normal University
Central University of Finance & Economics
China Pharmaceutical University
China University of Mining & Technology
China University of Mining & Technology, Beijing
China University of Petroleum
China University of Political Science & Law
Chongqing University
Communications University of China
Dalian Maritime University
Dalian University of Technology
Dongbei University of Finance & Economics
Donghua University
East China Normal University
East China University of Political Science & Law
East China University of Science & Technology
Fujian Normal University
Fuzhou University
Guangdong University of Foreign Studies
Hainan University
Huazhong University of Science & Technology
Hunan University
Jinan University
Lanzhou University
Nanchang Hangkong University
Nanjing University of Aeronautics & Astronautics
Nanjing University of Science & Technology
Nankai University
North China Electric Power University
Northeast Normal University
Northwestern Polytechnical University
Northeastern University
Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)
Shaanxi Normal University
Shandong University
Shanghai Finance University
Shanghai Jiaotong University
Shanghai Maritime University
Shanghai Normal University
Shanghai University of Int'l Business & Economics
Soochow University
South China University of Technology
Southeast University
Southwestern University of Finance & Economics
Taiyuan University of Technology
Tianjin University
Tongji University
University of Electrical Science & Technology of China
University of International Business & Economics
University of Science & Technology Beijing
Xiamen University
Xi'an Jiaotong University
Xi'an Jiaotong-Liverpool University
Zhongnan University of Economics & Law

台湾

Feng Chia University
National Chiao Tung University
National Chung Cheng University
National Taiwan Normal University
National Taiwan University
National Tsing Hua University
National Yang Ming University
Tunghai University
Yuan Ze University

マレーシア

University of Nottingham - Malaysia

ブルネイ

Universiti Brunei Darussalam

カザフスタン

International Academy of Business (IAB)
KIMEP: The Kazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research
Nazarbayev University

(2015年1月現在)

SAF HEADQUARTERS



Erika Woodward: SAFアメリカ本部のコミュニケーション部門に配属

Erika Woodward
Communication Coordinator
SAF Headquarter, Indianapolis

Erika WoodwardはSAFアメリカ本部での勤務をスタートさせるために、2014年9月にワシントンDCよりインディアナに引越しました。東京アメリカンクラブでの編集アシスタントの経験を活かし、SAFではコミュニケーション部門の仕事に携わります。

彼女の加入に伴い、SAFでは「①ウェブサイトやパンフレット等のブランドイメージの統一化 ②学生とSAF、また学生同士のコミュニケーションを促進するためのチャネル開発」にいつも注力していきたいと考えています。特に②については、学生と交流するためのプロ

グを開発したり、Facebookへ積極的に記事を投稿したりするなど、数か月間で既に多くの活動をスタートしました。

現在は、SAFのビジュアルおよびブランド・アイデンティティのガイドラインの見直しを行いつつ、SAFアメリカ本部のウェブサイトの再構築に取り組んでいます。クリエイティブな発想でSAFのコミュニケーション部門に貢献できるよう、バレエダンサーでもあったErikaはインディアナでヨガを行い、SAFアメリカ本部で邁進しています。

Facebookページ www.facebook.com/StudyAbroadFoundation

ブログ thestudyabroadfoundation.blog.com

SAFアメリカ本部ホームページ <http://hq.studyabroadfoundation.org/index.php>

SAF日本事務局ホームページ <http://japan.studyabroadfoundation.org/index.php>

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

The Foundation for International Education, FIE London Internship Program (Fall 2014)

立教大学
異文化コミュニケーション学部/2年
山田 一竹さん

私は4ヶ月間、英国・ロンドンに在る"Foundation For International Education(FIE)"という高等教育機関にて、主に紛争解決学を学びながら、NPO団体"Love to Learn"にてインターンシップにも従事しました。

FIEは、米国各地からの留学生が9割以上を占める高等教育機関で、講義は非常に専門的、且つ、高レベルで、紛争解決学では、戦争・紛争の歴史から、非暴力平和主義の効力、新たな戦争についての検証、コスモポリタンな紛争解決法など多岐に渡りました。私は、これらの授業や寮での共同生活を通し、70年前までは敵国であった米国の学生らと過去を語り、共に未来の平和に思いを馳せ、相互理解を深める事が出来たと自負しています。又、インターンシップでは、ロンドンで難民支援を展開するNPO団体にて、難民の子ども達への学習支援等を通し、彼らと直接触れ合う機会を得ました。言語、文化、宗教の壁を超え、彼らと築いた絆は生涯忘れ得ない経験です。同時に、彼らのバックグラウンド、戦争の爪痕を知り、戦争の悲惨さ、愚かさを再認識しました。



今回の留学は、私の夢である「世界平和の実現」の為、世界で最も多様性があると言われるロンドンで学ぶ必要性を感じてのものでしたが、学校とインターンシップの両立は思いの外難しいものでした。しかし、ロンドンでなければ学べない事を常に意識し、夢の実現に近づくという強い意志により乗り越える事が出来ました。この留学は、私に真の多様性の在り方を示し、我々は、国を、人種を、歴史を超え、分かり合う事が出来るという事を教示してくれました。今後もこの至極貴重な経験を活かし、夢の実現に向けて邁進していきたいと思っています。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



大学担当
留学プログラム開発・運営
ディレクター
須川 健太郎



SAF日本事務局
副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



SAF日本事務局
副ディレクター
プログラム運営・学生支援
福田 久美子



大学担当
留学プログラム開発
マネージャー
廣見 道子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
児玉 有子



プログラム運営・学生支援
マネージャー
藤本 実千代



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
折目 真由実



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
渡辺 梨詠



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
渡辺 亜紀子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
ウエングレル 和加子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
中里 祥子



プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
宮谷 萌



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
慶應義塾大学
短期海外研修プログラム担当
細井 美那



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

米國非営利教育財団
SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局
<http://japan.studyabroadfoundation.org>